

令和5年1月17日

保護者様

静岡大学教育学部附属浜松小学校

校長 大村 高弘

教育評価 保護者アンケート結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に御理解、御協力をいただき、感謝を申し上げます。

さて、過日お願いした学校評価アンケートへの御回答をありがとうございました。本校は、学校の特性上、教育研究と教育実習という2つの使命を果たしながら、お子さんのよりよい成長を願って教育活動を実施しております。皆様には、本校の特色を十分御理解いただくと共に、様々な御配慮をいただいていることに感謝申し上げます。

今回、皆様から寄せられました多くの御意見と学校の考えを下にお知らせいたします。（集計結果は別紙）学校の教育方針や取組、お子さんの様子など、保護者の皆様のお声を励みに、教育活動をより一層充実させていきたいと考えております。

また、御指摘いただきました点について本校の考えを掲載いたします。紙面の都合上掲載できなかった御意見につきましても、職員で共通理解し、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。これからも、本校教育活動に対する御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

いただきました御意見の中から、一部を抜粋して紹介いたします。

・**伝統のある素晴らしい教育環境と先生方の熱心なご指導を頂きながら毎日を過ごしています。今年度入学してから、半年が過ぎ、順調な子どもの成長に、感謝申し上げます。**

→100年以上の歴史と伝統をもつ本校は、これまでに数多くの方に支えられてきました。本校の教育活動に多大なる御理解をいただきありがとうございます。

・**異学年交流がとても良い活動だと思っております。上級生の男の子たちにとっても優しくしていただいているようで、子供も同じ班の上級生や、通学路でよく一緒になる子供たちの話をしてくれるようになりました。**

→1年生から6年生までの縦割り活動は、コロナの感染状況に対応し、内容・方法を変更させていただきました。子どもたちの自律性、協働性、社会性を異学年で系統的に育めるように計画しています。

・**今年は例年に近い形で参観会などに参加させていただき、子供の様子や教室内の様子を見ることができています。また校外学習の機会も増え、生き生きと学校生活を送れていることに感謝しております。**

→今年度は、ようやく対面での参観会を再開することができました。感染対策のために、人数を制限しての参観や体育館での待機や移動への御理解をいただき感謝しております。校外学習についても、感染状況に応じて、時期、内容、方法を工夫しながら、来年度はさらに拡大させていく予定です。

・**正門前のセキュリティをしっかりしてほしい。**

→コロナ禍において保護者の送迎を認めていることもあって、正門前の交通量は以前より格段に増加しています。正門前の子どもの安全確保、来客の交通誘導など警備会社にも協力を求めています。

- 授業では、校外学習や特別授業などの貴重な経験を通して学びを深めているようです。また、ロイノートの活用など学習の手段も多様化したことで子供の好奇心を高める環境づくりがなされていることに感謝しております。
- 自宅でもタブレットの使用に制限をかけているのですが、視力がどんどん下がってきました。学校のタブレット使用の様子がわかるとそれに合わせて家の使用も調整していけるのですが。
→発達段階に応じて、授業や生活創造の活動で積極的に使用しています。そういったタブレット端末を使ったデジタルな学びとノートや紙を使用したアナログな学びを場面と状況、育みたい資質・能力に合わせて使い分けています。したがって、その日によって活用状況は異なりますが、休み時間等の使用については視力低下につながらないように指導をしていきます。
- 小中一貫化され、今年は引き渡し訓練も行われました。そのおよそ1週間後くらいには、水害のため実際に迎えに行き、引き渡しの機会がありました。ですが数日前の訓練時とは対応が異なり、小学校、中学校それぞれの指示が出ており、また小中で統一されておらず、小中在籍の保護者としては迎えの時間帯や、保護者の動き方、対応に悩んだり迷ってしまいました。
→小中での兄弟関係のある保護者の皆様に対しては、当日、御負担をおかけしてしまいました。あの日実施中の教育活動は内容の途中変更が困難で、小中に時間差をつくらざるをえませんでした。8月に実施する小中合同引き渡し訓練は、あくまでも一番の基本となるスタンダードな訓練です。今後も災害の状況や教育活動の内容に即して、最善の引き渡し方法をとらせていただきます。できるだけスムーズな流れとなるよう検討しますので、御理解と御協力をよろしく願います。
- 先生方の働き方改革で廃止されたのかもしれませんが、学級だよりがないことを寂しく思います。昨年度は学級だよりでクラスの様子がよく分かり、友達の顔と名前も覚えることができました。お忙しいのは承知しておりますが、月に一度でも発行していただくと嬉しいです。
→本校は、子どもの個性や多様性を大切にしております。教師も同じように、それぞれが得意とする手法で子どもの資質・能力を育むために、常に子どもと全力で向き合っております。学級通信もその手法の1つであり、様々なアプローチでの挑戦がなされています。各教師や学級の多様性や独自性に御理解いただくようお願い申し上げます。
- 1 クラスあたりの子どもの人数が多すぎるように思います。学校生活全般において、一人の先生で35人の児童への個に応じた指導や言葉掛けというのは難しい部分があると思います。教室も低学年ですら窮屈に感じます。
→諸外国においては、少人数の学級編成による教育で効果を高める取組が進んでいることを聞いております。一方、国の現行の基準は35人学級編成で、そのモデル校として教育研究を行うのが本校の使命であり、教員養成（実習生指導）においても同様のことが求められます。現在与えられた環境の中で最善の取組を研究したいと思います。今後も、国の動向や諸外国での研究成果を注視していきたいと思っております。
- 子どもの安全を重視するのであれば、コロナ後も自家用車で送迎を全面的に認めて欲しい。
- 学校のきまりに関してですが、学校へは公共交通機関を使い自力で通学することが受験する時点で出願資格となっています。現在はコロナ感染防止のために送迎することも認められていますが、見直す時期かと感じます。
→ここ3年近く、公共交通機関使用時の感染が心配な場合に限り車での送迎を認めてきました。この点については「継続」と「見直し」との両方の御意見をいただいています。
今後開始される新築工事と共に学校敷地内の車両通行は大きく制限されるようになります。プール西側から北門に至る通路はこれまで送迎車に一方通行で利用されましたが、工事期間中、一般車両の通行はできなくなります。また、プール更衣室周辺にも仮囲いが設置される予定です。これに伴い今後の送迎について、大学施設課・中学校・PTA三役さんと検討をしております。検討の結果については、後日お知らせいたします。